

大雨ばい！どげんする？

大雨のいろいろな情報

災害から身を守るための大切な情報を知ろう

「記録的短時間大雨情報」が、数年に一度の短時間の大雨をお知らせする「記録的短時間大雨情報」があります。

大雨について、气象台が発表する情報を知っていますか？气象台は、大雨を予想したときに、情報を発表して皆さんにお知らせしています。

まず、大雨になりそうな日の約1日前に、「大雨に関する気象情報」を発表して注意を呼びかけます。大雨の時間が近づき、大雨により災害が起こりそうなときは「大雨注意報」、大きな災害が起こりそうになると「大雨警報」、大雨がふり続き、これまでにない危険が迫っているときには「大雨特別警報」を発表します。

そのほか、土砂災害の危険をお知らせする「土砂災害警戒情報」、数年に一度の短時間の大雨をお知らせする「記録的短時間大雨情報」があります。

時系列	注意報・警報	気象情報
約1日前程度前	大雨注意報	大雨に関する気象情報(随時発表)
半日～数時間前	大雨警報	土砂災害警戒情報
数時間～2時間前	大雨特別警報	記録的短時間大雨情報
数十年に一度の大雨		

大雨のときはどうする？

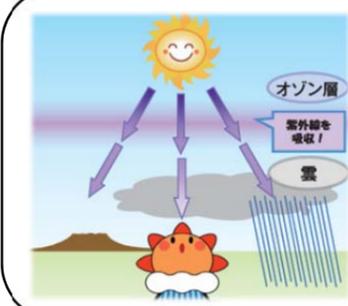
防災を考えよう！



これから梅雨の季節となり、雨の日が多くなってきます。雨は飲み水や農業に必要な水を提供してくれる一方で、がけくずれや、川の氾濫などの災害をもたらすことがあります。雨が強まってきたら、がけや川に近づかないようにするなどして、自分の身の安全を守りましょう。また、これから雨や風が強くなりそうだとわかったとき、すぐにベストな行動ができるように、日ごろからいろいろな事態を考えて、おうちのひと話し合っておきましょう。

- 重要ポイント**
- 大雨のときはテレビやラジオ、気象庁のHPなどで最新の情報を手に入れよう。
 - 家のまわりや通学路などの危険な場所（「がけ」や川）を調べておこう。
 - 避難場所の確認や避難準備をして、おうちの人と早めに行動できるようにしよう。
- 大切なのは、自分で考えて、しっかりと自分の命を守ること。

晴れたときにも要注意！



皆さんは、外で遊ぶときには紫外線対策をしていますか？紫外線はときには健康に悪影響をもたらすので、注意が必要です。まだ5月だからといって気を緩めていたら大変な目にあります。実は5月は、夏の7、8月に次ぐ紫外線の強い月なのです。シミ、そばかすを気にしている友達や家族に教えてあげましょう。



2017年	5月10日	水曜日
平成29年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

「お天気 Q&A」

Q: 激しい雨ってどんな雨？

A: 1時間に30ミリ以上50ミリ未満の雨のことを激しい雨と呼びます。激しい雨が降るとバケツをひっくり返したように感じ、道路が川のようになることがあります。

ほかにも、「非常に激しい雨」や「猛烈な雨」といった、「激しい雨」よりも危険な雨の表現があります。

アナウンサーはいつも「雨の強さを表す言葉」を使っているよ。天気予報を見るときにチェックしてみよう！



気象情報へのアクセス

災害から身を守ろう	検索	QRコード
防災気象情報へのアクセス	検索	QRコード